



バージョン1.1

本マニュアルにおける図およびイラストの使用は、参考用であり、実際の製品とは異なる場合があります。

製品の設計および仕様は、通知なく変更される場合があります。

# インストール ノート

## 設置に関するご注意事項



**DynaScan**

# 目次

---

お取り扱い	3
ディスプレイをボックスから取り出す	5
壁取り付け設置	7
設置場所	7
壁取り付け	8
縦置き設置	8
天井から吊下げる	9
動作温度	10
換気（ファン冷却モデル）	11
エンクロージャ	12
冷却および加熱ソリューションを使用する	12
ウィンドウ内での使用	14
メディアプレーヤーの位置	15
お問合せ	16

# お取り扱い

- ディ스플레이は、必ず、複数名で取り扱ってください。
- ナローベゼル LCD を取り扱うときは、特に注意してください。端に衝撃を与えると、LCD パネルに亀裂が生じる可能性があります。

ボックスに印刷された取り扱い表示に従ってください。



Handle With Care  
(取り扱い注意)



Keep Dry  
(乾燥を維持)



Contents Fragile  
(こわれもの)

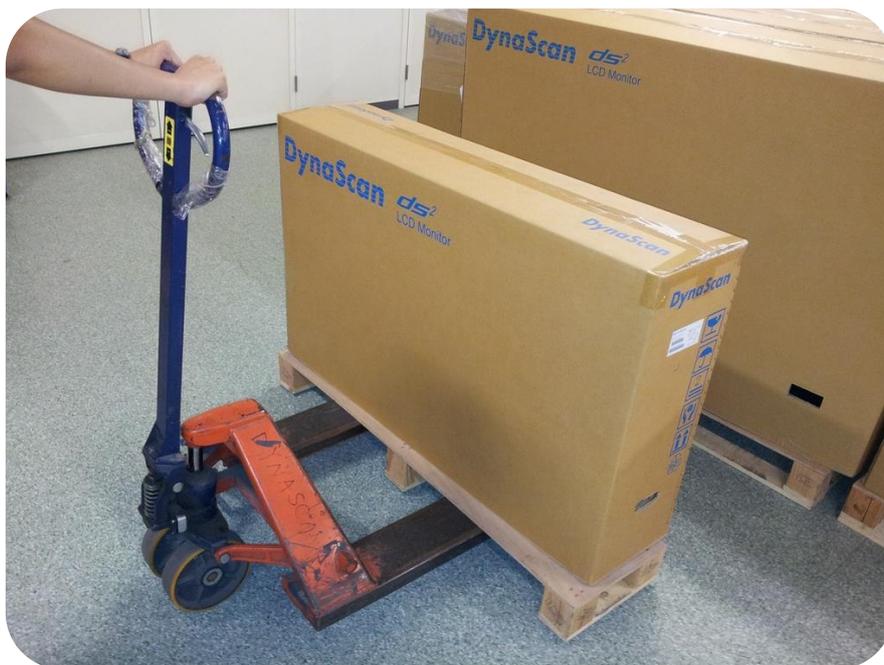


This Side Up  
(こちらが上向き)

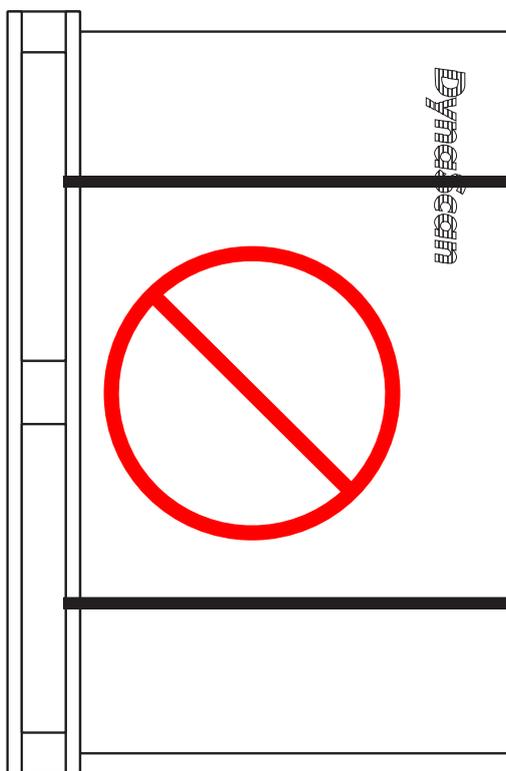


Stack Height  
(2段重ねまで)

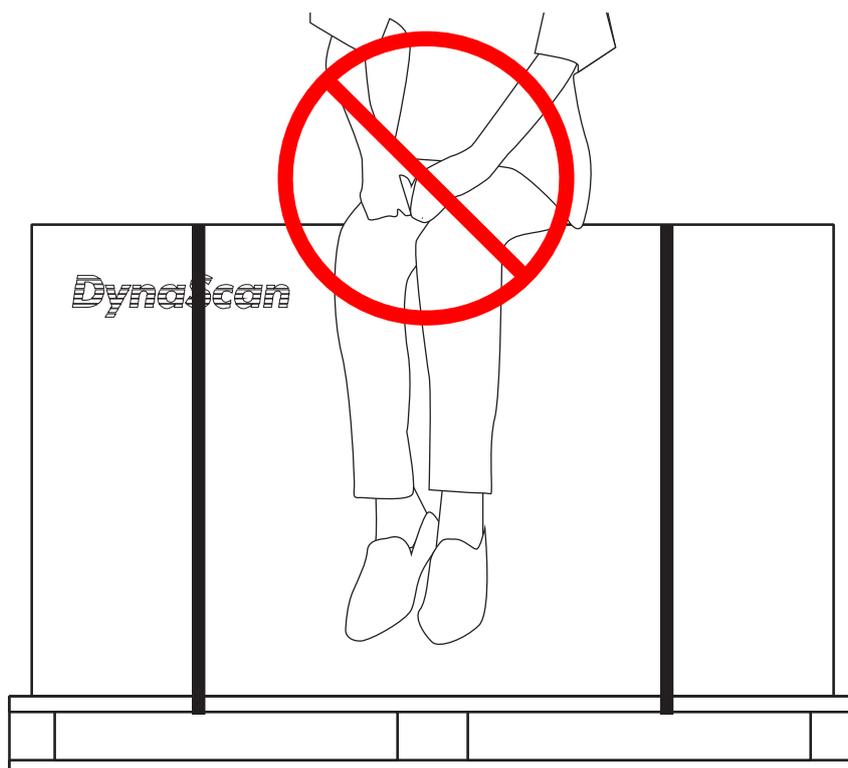
ディスプレイを移動させるときは、パレットジャックを使用してください。



カートンボックスを落としたり、横向きにしないでください。



ボックスに座ったり、よりかかったりしないでください。



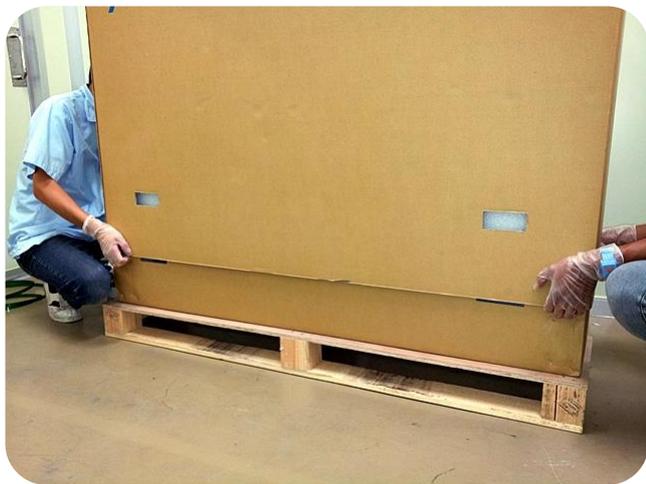
## ディスプレイをボックスから取り出す



1. ボックスのパッキングストラップを切ります。



2. タブを引っ張って、プラスチック製クリップを取り外します。



3. 上に持ち上げて、上部梱包材を取り外します。



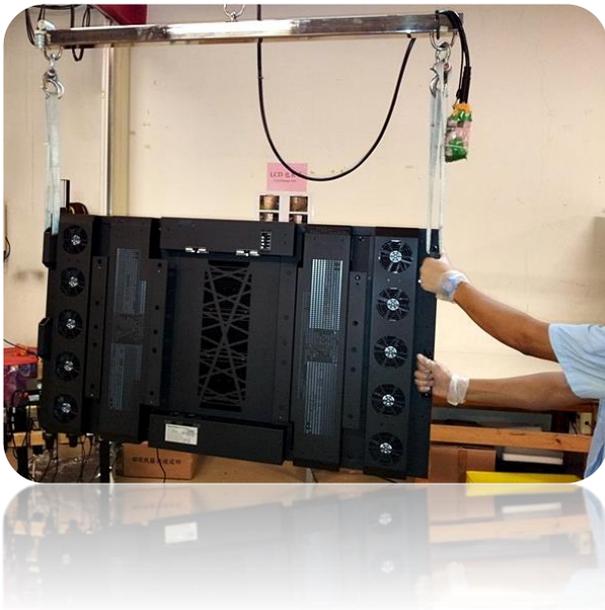
4. 保護用ポリ袋を取り外します。



5. 背面のハンドルを使って、ディスプレイを持ち上げ、下部梱包材を取り外します。



6. 両手でディスプレイを持ちながら移動させます。



7. より大きいモデルの場合は、開梱または再梱包するときに、持ち上げ工具を使用してください。



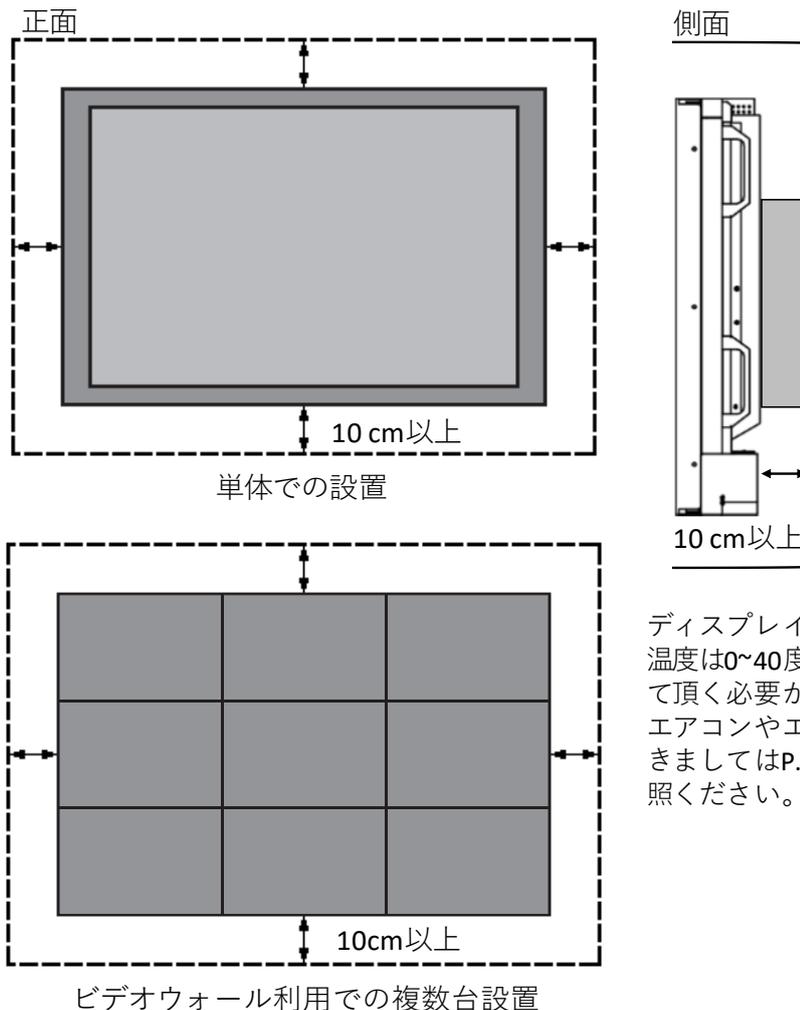
8. ディスプレイを下向きにして、柔らかいクッションを敷いた面の上に置きます。

# 壁取り付け設置

壁掛け金具を使って、ディスプレイを適切に設置してください。誤った取り付けを行うと、けがや機器の破損が生じる可能性があります。不適切な設置により発生した損傷は、製品保証の対象外であり、DynaScanは、このような事故に対して責任を負いません。適切な設置については、壁掛け金具メーカーからの指示を参照ください。

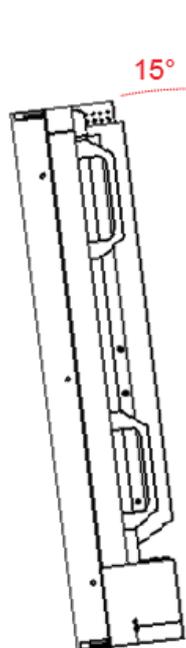
## 設置場所

- 壁と壁掛け金具の強度がディスプレイとその付属品を保持できるだけの十分なものであるか確認ください。
- 強く揺れる場所や埃の多い場所には設置しないでください。
- 建物の電源パネルの近くに設置しないでください。
- 一般の人々に簡単に取り外されることのない方法で、セットが固定されていることを確認してください。
- 適切な換気を確保するため、ディスプレイの外縁（またはビデオウォールマトリックス）と他の物との間にはすき間を確保してください。
- 画面を壁に埋め込む設置の場合は、次の項目を参照してください：冷却と換気を考慮した**エンクロージャ**。



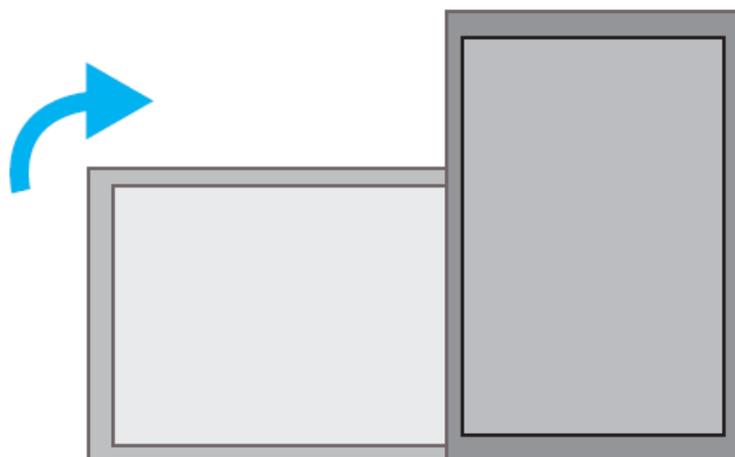
## 壁取り付け

- 壁架け金具は付属していません。ディスプレイの固定には、VESA 標準の壁掛け金具を購入してください。非標準の壁架け用金具の使用に起因する損傷に対して、DynaScan は責任を負いません。
- 設置前に、取り付け場所が、ディスプレイの重量を支えられるか建築業者など専門家に確認してください。
- 設置角度が垂直軸から 15 度以内になるようにしてください。
- 感電による重傷を招く恐れがある為、電源がオンになっている状態で壁掛け金具を取り付けしないでください。



## 縦置き（ポートレート）設置

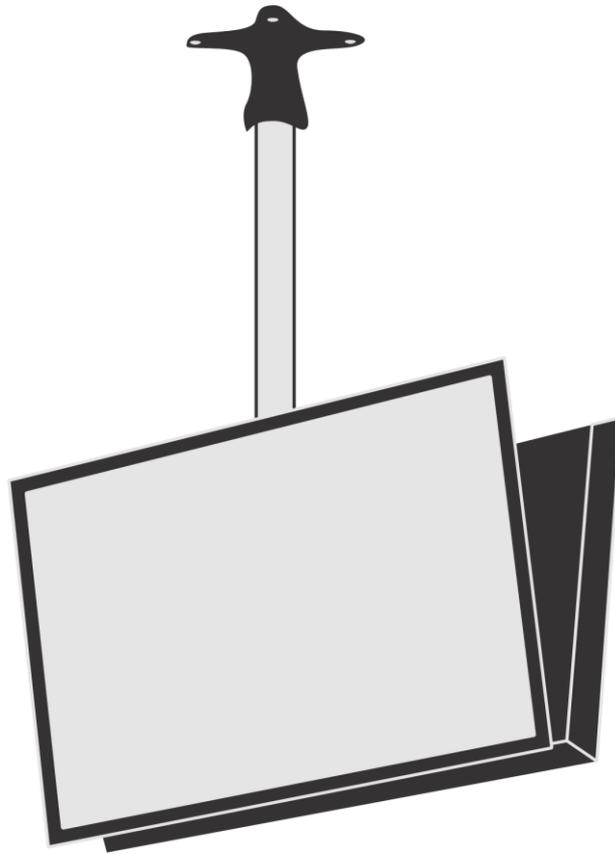
縦長の向きで使用するときは、ディスプレイを正面から見て、左端が上端になるように、ディスプレイを時計回りに回転させてください。（セット背面の方向を示すステッカーもご確認ください。）



縦長モード：ディスプレイを時計回りに 90 度回転させてください（必須）

# 天井から吊下げる

---



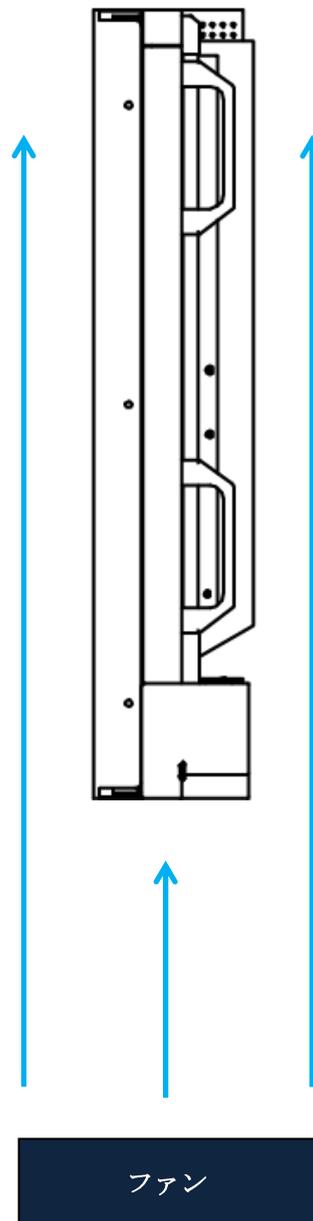
- 天井が、ディスプレイと付属品を支えることができるだけの十分な強度を備えているか確認してください。また、天井の強度を評価するときは、地震、予期せぬ振動およびその他の外力の影響も考慮してください。
- ディ스플레이は、梁などの建物の構造フレームに固定し、軽量鉄骨フレームや室内装飾などの材料には固定しないでください。
- 設置する際に木ねじや乾式壁用アンカーを使用しないでください。
- 適切な設置については、マウントメーカーからの指示を参照してください。

## 壁に取り付けるとき、天井から吊下げるとき

- ディ스플레이を天井から吊下げたり、壁に取り付けたりする作業はユーザーの責任となります。すべての天井に、ディスプレイを支えられるだけの十分な強度が備わっているとは限りません。十分に支えることができない天井から吊下げた場合や傾いた壁に取り付けた場合には、LCD が落下し、重傷を招く可能性があります。
- 不適切な設置や改造、自然災害により発生した損傷は、製品保証の対象外です。
- 設置場所の査定が事前に行われる必要があり、設置作業は特殊な技術や適切な作業が必要となりますので、販売店へご相談頂き、資格のある専門業者に依頼することを推奨します。
- 適切な熱の放散を確保するために、通気口とヒートシンクは覆わないようにしてください。

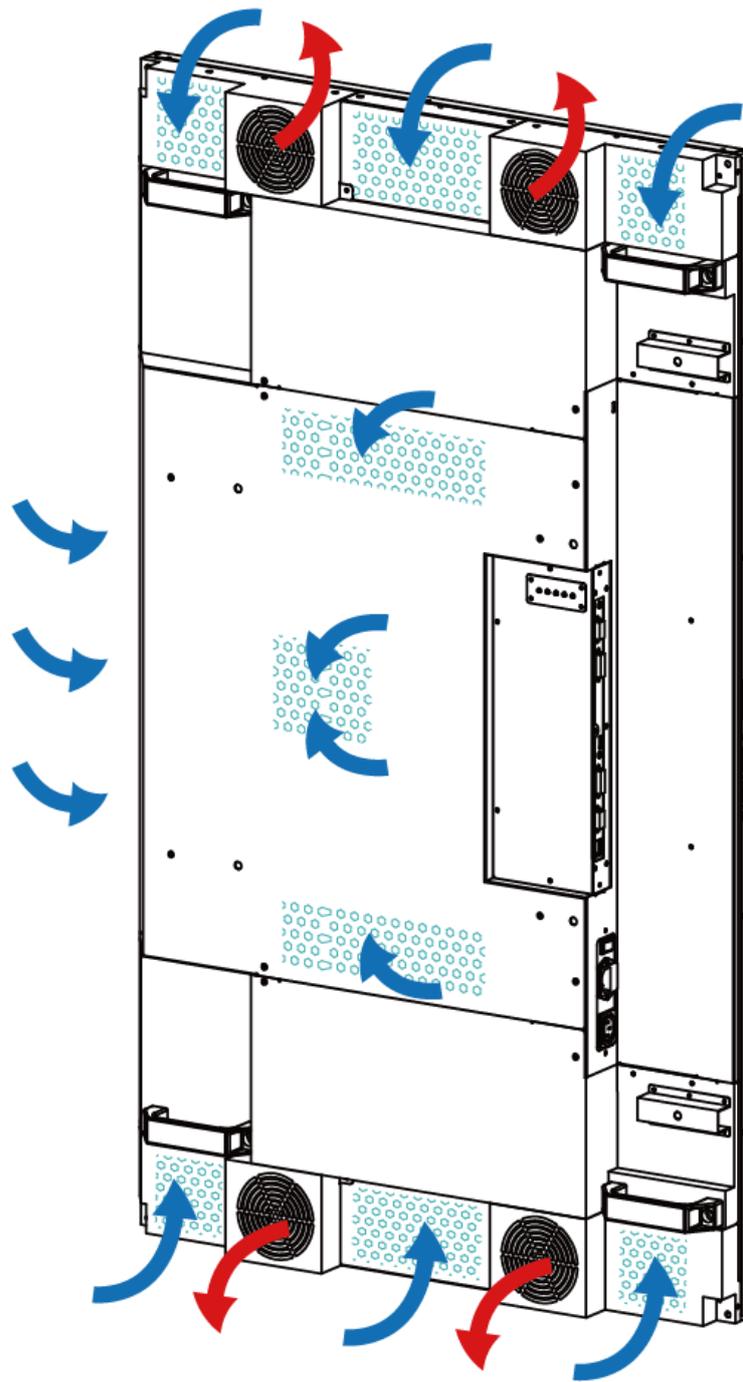
## 動作温度

動作温度を 0° C~40° C に維持してください。 適切な温度を維持するため、以下に示すように、ディスプレイの下部では横流クロスフローファンの使用を検討してください。



## 換気（ファン冷却モデル）

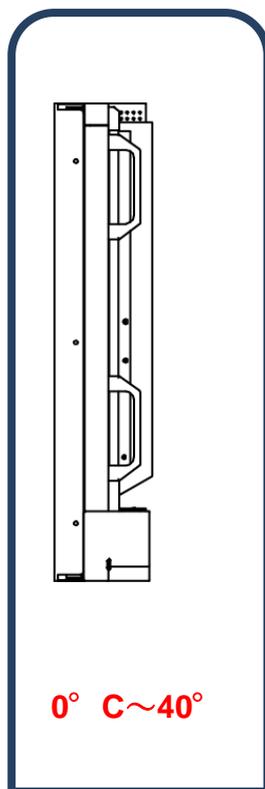
適切な動作温度を維持するためには、冷たい空気がディスプレイ内に入り、熱い空気がディスプレイから放出される必要があります。ファンや通気口を塞いだり、ディスプレイの背面に冷却空気を供給しなかった場合、ディスプレイを過熱させる可能性があります。（以下の例を参照してください）。



\* 空気の流れはモデルによって異なります

# エンクロージャ

屋外で使用する場合、ディスプレイを保護するために、外部エンクロージャが必要です。エンクロージャを設計するときは、エンクロージャ内部の温度を  $0^{\circ}\text{C}\sim 40^{\circ}\text{C}$  ( $32^{\circ}\text{F}\sim 104^{\circ}\text{F}$ ) に維持してください。詳しい推奨事項については、必ず、エンクロージャの工事施工者またはインテグレーターに相談してください。

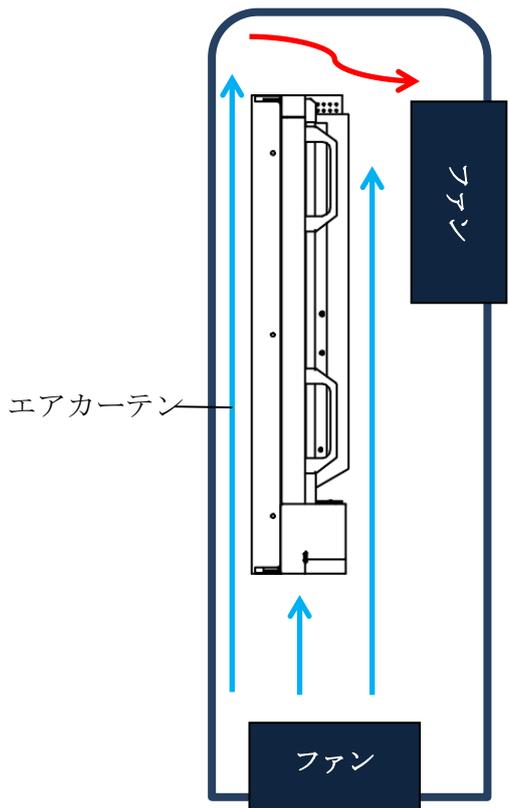


エンクロージャ

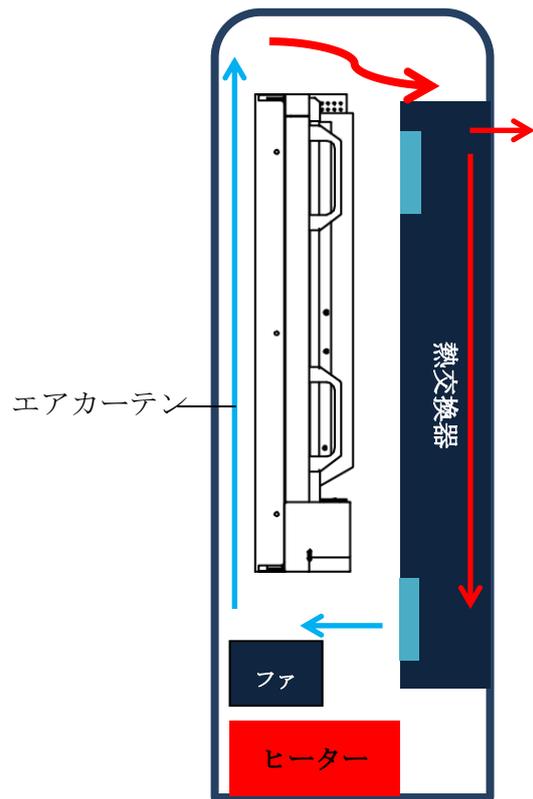
## 冷却および加熱ソリューションを使用する

エンクロージャ内で適切な動作温度を維持するために、外部環境に応じて、空調設備、熱交換器、またはクーラーとヒーターの組合せなどの冷却および加熱ソリューションの使用を検討してください。（以下の例を参照してください）

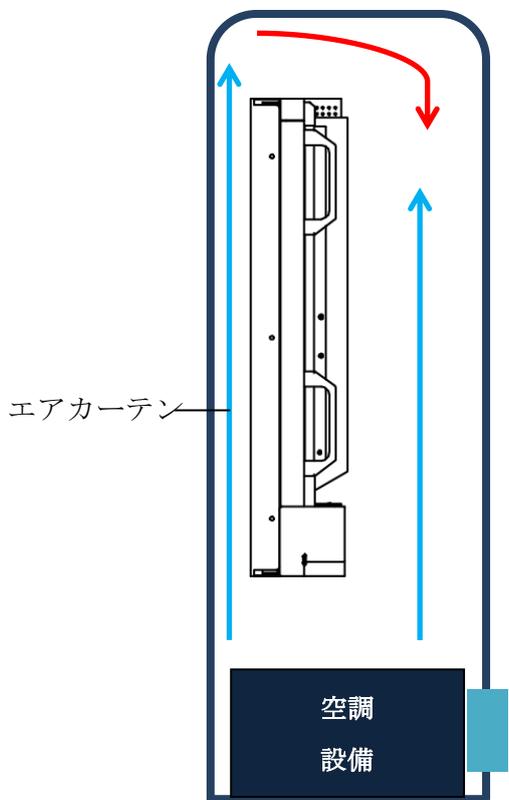
- 前面パネルとエンクロージャの間に、フロー循環システムやエアカーテンを採用することもできます。
- IP65 定格以上のエンクロージャを推奨します。
- 埃を防ぐためにエアフィルターを使用してください（空気入口および空気出口）。
- 回路ボードのリードフレームの錆を防止するため、相対湿度が高すぎる際はヒーターを動作させてください。



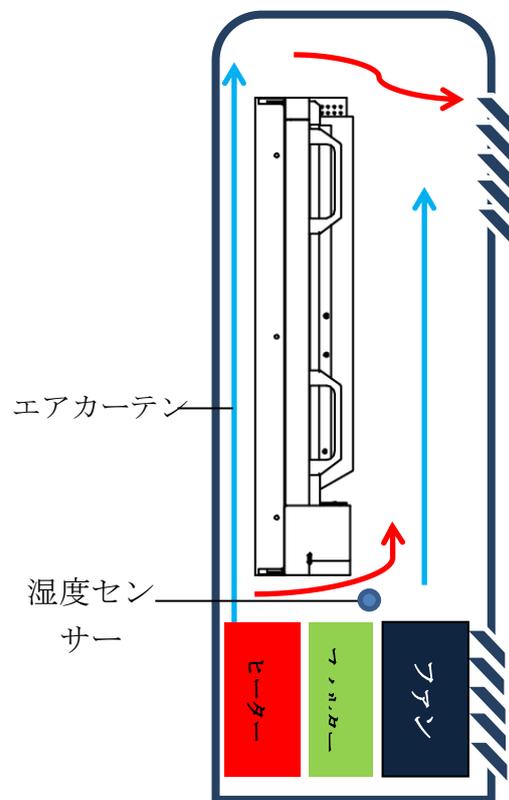
例 1 : エンクロージャ (ファンのみ)



例 2 : エンクロージャ (熱交換器)



例 3 : エンクロージャ (空調設備)

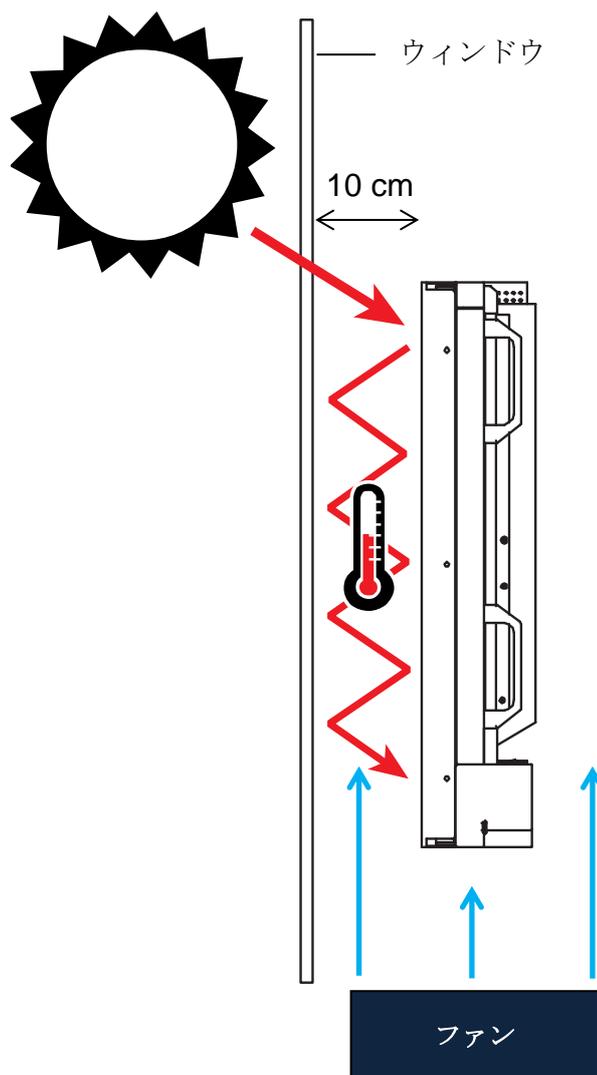


例 4 : 直接空冷

## ウィンドウ内での使用

ディスプレイをウィンドウ内に配置するときは、特に冷却を考慮してください。太陽光からの熱がウィンドウと LCD パネル表面の間に捕らわれ、いわゆる温室効果が発生させる可能性があります。ウィンドウ背後の適切な動作温度を維持するために、クロスフローファンまたは空調設備などの冷却ソリューションの使用を検討してください（以下の例を参照してください）。

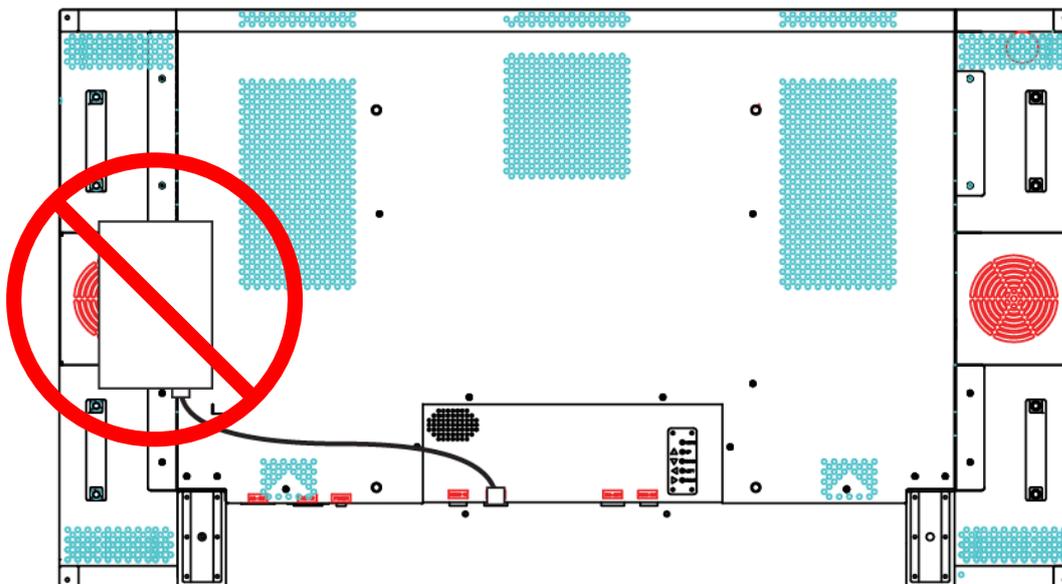
- ウィンドウと LCD の前面の間には、少なくとも 10cm（4 インチ）のすき間を推奨します。
- 隙間が 10cm 未満の場合、または直射日光下に設置する場合は、クロスフローファンを使用してください。
- ディ스플레이の前面および背面の両方のエリアを  $0^{\circ}\text{C}\sim 40^{\circ}\text{C}$  に保ってください。
- スポットライトなどの電灯照明は、このようなエリアの周囲温度を上昇させる可能性があります。この点も考慮してください。
- ウィンドウに UV および/または IR フィルムを使用すると、熱の侵入を最小限に抑えることができます。推奨事項については、インテグレーターに相談してください。



# メディアプレーヤーの位置

## ファン冷却モデル

メディアプレーヤーをディスプレイ背面に取り付ける場合は、適切な換気を確保するために、ファンまたは通気口を塞がないようにしてください。これを怠るとディスプレイやメディアプレーヤーが損傷する可能性があります。



## ファンレスモデル

メディアプレーヤーをディスプレイ背面に取り付ける場合は、適切な換気を確保するために、必ず、ヒートシンクとプレーヤー装置の間にすき間を確保してください。これを怠ると、LCD および/またはメディアプレーヤーが損傷する可能性があります。



# お問合せ

---

設置に関しまして、他にご質問がある場合は、お買い求めの販売業者経由お問い合わせください。

ダイナスキャン・テクノロジー・ジャパン株式会社

〒 223-0057

神奈川県横浜市港北区新羽町 888 番地

電話：045-716-6699

(米国本社)

**DynaScan Technology 社**

7 Chrysler

Irvine, CA 92618

United States of America

電話：1.949 421 0348 Option 6

メール：[support@dynascanusa.com](mailto:support@dynascanusa.com)

(台湾技術部門)

**DynaScan Technology Corp.**

66 Hwaya 1st Rd.

Kueishan Hwaya Technology Park

Taoyuan County 33383

Taiwan

電話：+886 3 396 0541, x8540

メール：[info@dynascan.com.tw](mailto:info@dynascan.com.tw)